

平成19年度 第1回 総合計画審議会議事録

- 日 時 平成19年11月27日(月) 午後1時30分～16時50分
- 会 場 南魚沼市役所 大会議室
- 出席者 委員：中沢委員、今井委員、佐藤委員、井上委員、関委員、腰越委員、塩谷委員、 峠委員、宮下委員、黒井委員、上村委員、鈴木委員
(欠席) 羽賀委員、南雲委員、高野委員
市：市長、副市長、水道事業管理者、消防長、総務部長、市民生活部長、福祉保健部長、産業振興部長、建設部長、教育委員会次長、総務部次長、企画政策課長、事務局(北村、米山)

1. 開会 宮下会長

2. 市長あいさつ 井口市長

3. 議事

1) 平成22年度実施計画(平成20年度から平成22年度まで)

【企画政策課長説明】

20～22年の3ヶ年間の総合計画実施計画に諮問するもの。この内容は、11月19日に行われた大和・塩沢の地域審議会です承済み。事業内容については、各部長から説明する。資料中の事業費は予算要求前の数字であり担保されたものではない。

【市長から、会長に諮問書手交】

【資料「平成20年度～22年度 実施計画 2.事業一覧表」に基づき、各部長より説明】

「1. 保健・医療・福祉」

【福祉保健部長説明】

《質 疑》(□質問・意見、■答弁)

□腰越委員：昨年の事業計画に比し、住民健診等の事業が落ちている。昨年あって今年なくなった事業があるのはなぜか。

■企画政策課長：この表に掲載されているのはハードのみ。ソフトはこれまでどおり実施している。

□佐藤委員：胃がん検診車整備について、魚沼地域胃集団検診協議会所有のものは順次、市有に切り替えていかなければならないのか。基幹病院との関係で不要となる見通しはないのか。保育園の整備について、H23年以降の計画はどうなっているのか。

■福祉保健部長：協議会は任意なので財産を持ってない。H16年に購入した検診車は小千谷市の名義。現在4台あり、常時稼働は3台。保育園整備は、耐震診断の結果このほかに3ヶ所ほど要整備であり、現在担当課において修繕か建替かを検討中。また、少子化の進行に伴い、保育園の稼働率の悪さが指摘されているが、保育園の合併・統合も含めて検討が必要である。

■市長：魚沼地域胃集団検診協議会は、いずれ不要になるものである。廃止をした場合の職員の処遇問題等は、20年度頃から構成市町で検討に入る見込み。

□中沢委員：予防医療体制として、大和病院の健友館における人間ドック受入れ数が満杯状態である。体制拡充を図る考えはないか。

■市長：健友館機能を倍増する等の考えはない。城内病院でもやっており、基幹病院関係で六日町病院等の市立以外の病院との協力体制の検討も必要と考える。

○会長：「1. 保健・医療・福祉」については了解するということでよろしいか。

【意義なし】

「2. 教育・文化」

【教育委員会次長説明】

- 佐藤委員：基本計画の中では、塩沢地区館の大規模改修、情報館建設事業が挙げられていたが、実施計画に載っていないのはなぜか。
- 市長：情報館は、今泉博物館内に道の駅関連で物産館を作りたい旨、観光の方で目が出ている。(情報館とは図書館であり、図書館整備は H26 年頃の計画であると、後に訂正)塩沢地区館は目が出ていない。
- 峠委員：塩沢ミニ給食センターの建設位置はどこか。
- 教育次長：運営委員会の中では、塩沢小学校か塩沢中学校のどちらかに併設するべきとされている。面積的に余裕のある塩沢中学校に併設したい。
- 会長：「2. 教育・文化」については了解するということでよろしいか。
- 【意義なし】

「3. 環境共生」

【市民生活部長説明】

質疑なし

- 会長：「3. 環境共生」については了解するということでよろしいか。
- 【意義なし】

「4. 都市基盤」

【建設部長、水道事業管理者説明】

- 鈴木委員：H18年の資料と比して事業費に大きな差がある。事業 N04215 滝谷橋架替改良は 10 倍、N04306 天王町 8 号線歩道設置は 2.5 倍、N04308 島泉盛寺線歩道設置は 4 倍となっている。これらは、H18～19 年にかなり進行したということか。
- 建設部長：N04215 滝谷橋架替改良は、昨年度においては早めに着手したい考えであったが、諸事情により事業年度を H23 年度以降に組み替えた。N04306 天王町 8 号線歩道設置、N04308 島泉盛寺線歩道設置は、H18～19 年で事業消化できたもの。
- 中沢委員：N04302 流雪溝整備事業について、流す水の確保ができていないのにこのまま進めて問題ないか。無駄にならないか。
- 建設部長：送水管整備は H21 年で完了する。水源確保については、新たに見つけないと現在魚野川から取水している水量では絶対量が足りない。時間制限等が必要となる。新たな水源としては、例えば三国川の水道水源、規制地外の井戸、幹線用水路の水等を検討していかなければならない。サービス低下を期さないよう、水源は必ず確保する。
- 中沢委員：是非、無駄にならないように整備されたい。
- 塩谷委員：N04105 斎場改築事業の規模、概略は。
- 市民生活部長：広域連合時代に策定された計画では、1,800 m²程度で都市計画決定したが、市において再検討し、できるだけ縮小する方向で見直している。ペット炉は当初計画にはなかったが併設予定。炉数は 4 炉で現在と同じ。
- 会長：「4. 都市基盤」については了解するということでよろしいか。
- 【意義なし】

「5. 産業振興」

【産業振興部長説明】

- 中沢委員：天地人関連で 1 億円の事業費を見込んでいるが、収支を考慮してのものか。1 億円かけて見込まれる利益はどれくらいか。また、天地人博が終了した後の利用方法は。

■市長：収入については、はっきり計算されていない。風林火山博については、県と甲府市、民間が6,000万円ずつ負担したと聞く。天地人博についても、県はどうなるかわからないが、民間にスポンサーを募り応分の負担を願うことを考えている。収入については、入場料500円なら20万人で1億円になるが未確定な部分が多い。NHKの出方も見ながら、1億円程度の範囲で実施したいという考え。全部使うという意味ではない。もう少したつと事業計画が明らかになる。天地人博が終わった後は、博覧会場は撤去する。駐車場と防災広場として利用する考え。なぜ農協倉庫かというのと、ここで観光バスを降りて商店街を通り、川舟館に寄って六日町大橋（愛称として兼継橋か）を渡って坂戸山へ、という導線を描いている。

□塩谷委員：農協倉庫の購入価格は6,900万円ということか。

■総務部長：この表では、3分割して計上している。「天地人博」開催事業費+N06101庁舎整備事業+防災広場整備事業災害避難所として購入すると補助金がもらえるため。

○会長：「5.産業振興」については了解するということでよろしいか。

【意義なし】

「6.行財政改革・市民参画」

【総務部長・消防長説明】

□佐藤委員：高度情報化の推進の中で、共同アンテナの設置事業は災害時に携帯電話通話ができるなどの効果があるのか。

■企画政策課長：携帯電話の通信局との併設はできないと考える。

○会長：「6.行財政改革・市民参画」については了解するということでよろしいか。

【意義なし】

「H20年度から新規に取り組むソフト事業」

【事務局北村説明】

□佐藤委員：大河ドラマ関連のソフト事業は観光協会・商工会等との共同宣伝という考えか。

■事務局北村：実行委員会(観光協会、商工会等加入)で実施するもの。ほかに、関係5都市の委員会においても実施する可能性あり。

○会長：「H20年度から新規に取り組むソフト事業」については了解するということでよろしいか。

【意義なし】

2)その他

□今井委員：基幹病院について、3ヵ年では方向性が見えないので掲載されていないのか。事業に市の負担がないのか。事業の財源は特例債か。

■市長：基幹病院に係る用地取得、建設費について、市が負担することは想定していない。ただし、関連で、例えば六日町病院を市が引き受けなければならなくなった場合は、購入費、修繕費等が必要になる可能性がある。大和病院の敷地も提供する考えなので、それとの差し違えもあり得る。起債については特例債を主に考えているし、農協倉庫を3分割で購入するように極力有利な補助金を考えている。

○会長：原案通り承認するということでよろしいか。

【意義なし】

○副会長：平成19年度総合計画審議会の諮問は原案どおり承認された。答申書は後ほど提出する。

[16時50分終了]